

東京女子大学大学院博士前期課程

2025年度一般(9月期)

入学試験問題

人間科学研究科 人間社会科学専攻

心理・コミュニケーション科学分野

専門科目(解答用紙3枚)

外国語(英語)(解答用紙1枚)

※

※記入しないこと

受験 番号	
----------	--

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野 専門科目 試験問題 1/2

問 1 次の問いに答えなさい。解答用紙 A に解答しなさい。

統計的仮説検定は科学研究において広く用いられていますが、その適用にはいくつかの問題点が存在します。

(1) 有意水準の恣意性、(2) サンプルサイズの影響、(3) 実質的な意味と統計的有意性の乖離の 3 点に言及しながらこの問題について論じなさい。

問 2 以下の 10 問の中から 2 問を選んで解答しなさい。うち、少なくとも 1 問は、進学後に研究を希望している領域(心理科学/コミュニケーション科学)の問題を選び解答用紙 B に、もう 1 問を解答用紙 C に、それぞれ問題番号を明記して、解答しなさい。書ききれない場合は、裏面を利用しなさい。

1 アイコニックメモリ (Neisser, 1967) の存在並びにその特性を実証したスパーリング (Sperling, 1960) の実験方法について、各条件の違いがわかる程度に説明しなさい。また、どうしてこの実験からアイコニックメモリの存在並びに特性が実証できるのか、そのロジックをわかりやすく説明しなさい。

2 1963 年に出版されたコーエン (Cohen, B. C.) による The Press and Foreign Policy (Princeton, NJ: Princeton University Press) という著書の中に、“The press may not be successful much of the time in telling people what to think, but it is stunningly successful in telling its readers what to think about.” という有名な文章がある。これはメディアのどのような機能について述べたものか。この機能に関する代表的な実証研究の内容を説明し、論じなさい。

3 以下の 2 つの問いに回答しなさい。

(1) 社会心理学における偏見・差別を扱った実験研究を 1 つ取り上げ、その研究の概要を説明し、その上でその研究の意義を論じなさい。

(2) 社会心理学の実験における「現実的リアリズム (mundane realism)」と「実験的リアリズム (experimental realism)」とは何か、具体的な研究例を挙げて説明しなさい。

4 メディア接触によって生じた感情が説得に及ぼす影響について、二過程モデルの研究や防護動機理論に言及しながら、多面的に論じなさい。

5 認知心理学に関する以下の 2 つの問いに回答しなさい。必要なら図を用いてもよい。

(1) 記憶の二重貯蔵モデルについて、それを支持する実験結果とともに説明しなさい。

(2) 自らの関心のあるテーマについて、感情と関連づけた実験を立案し、研究計画を記しなさい。

※

※記入しないこと

受験 番号	
----------	--

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野 専門科目 試験問題 2/2

6 D. A. ノーマンのいう「(真の)アフォーダンス」、「知覚されたアフォーダンス」、「シグニファイア」の関係を、包含関係がわかる図を用いて説明しなさい。

7 以下の3つの問いに回答しなさい。

- (1) 「技術的特異点 (シンギュラリティ)」とは何か? 簡潔に説明しなさい。
- (2) シンギュラリティが発生すると考えられている主な理由を2つ挙げ、それぞれを簡単に説明しなさい。
- (3) シンギュラリティが実現した場合に社会に及ぼす可能性のある影響について述べなさい。

8 電子メールが主流であった時代と現在のソーシャルメディアの時代のインターネットを用いたコミュニケーションにおける自己呈示について、メディア特性と背景となるテクノロジーを踏まえてそれぞれ説明しなさい。

9 発達心理学におけるマインド・マインデッドネス (Mind-Mindedness) とは何か説明しなさい。また、マインド・マインデッドネスについて調べた研究をひとつ挙げ、具体的な研究方法と主な結果を説明しなさい。

10 スマートフォンのディスプレイには高解像度のものが使われている。その高解像度の程度を示すのにレティナ・ディスプレイと表現されたことがある。レティナとは網膜のことである。人間の目の網膜がなぜスマートフォンの解像度の高さを表すために使われたのだろうか? (1) 網膜がディスプレイの解像度の基準として使えるのはなぜか? (2) その基準とは、具体的には網膜のどの何のサイズを基準にしたものか? (3) レティナ・ディスプレイよりも高精細なディスプレイが開発される可能性について考えられること、の(1)-(3)の3つについて簡潔に述べなさい。

※

※記入しないこと

受験
番号

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野 外国語(英語) 試験問題 1/4

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

以下の【A】または【B】のいずれか 1 つを選択して、解答すること。

解答用紙の最初にどちらの問題を選んだか示すこと。【A】と【B】の両方を解答することはできないので注意すること。書ききれない場合は、裏面を利用しなさい。

【A】以下の 3 つの問いに回答しなさい。

問 1

以下の英文は、Riordan & Trichtinger (2017) の論文「Overconfidence at the Keyboard: Confidence and Accuracy in Interpreting Affect in E-Mail Exchanges」の Abstract です。日本語に訳しなさい。

著作権の関係上、省略します。

問 2

以下の英文は、Riordan & Trichtinger (2017) の論文「Overconfidence at the Keyboard: Confidence and Accuracy in Interpreting Affect in E-Mail Exchanges」の仮説とリサーチクエスチョンに関する記述部分です。日本語に訳しなさい。

著作権の関係上、省略します。

※

※記入しないこと

受験 番号	
----------	--

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野 外国語(英語) 試験問題 2/4

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

問 3

以下の英文は、Riordan & Trichtinger (2017) の論文「Overconfidence at the Keyboard: Confidence and Accuracy in Interpreting Affect in E-Mail Exchanges」の実験 1 の手続きに関する記述部分です。どのような実験を行ったのかを説明しなさい。

著作権の関係上、省略します。

※

※記入しないこと

受験 番号	
----------	--

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野 外国語(英語) 試験問題 3/4

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

【B】 以下の文章を読んで、内容をわかりやすく要約しなさい。

<p>著作権の関係上、省略します。</p>

※

※記入しないこと

受験 番号	
----------	--

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野 外国語(英語) 試験問題 4/4

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

著作権の関係上、省略します。

出典： Take Notes: on a Laptop or Longhand, It Does Not Matter by Regan A. R. Gurung
Ph. D., Psychology Today, February 22, 2021. Copyright © 2021 from Psychology
Today/Sussex Publishing LLC. All rights reserved. Distributed by Tribune Content
Agency.